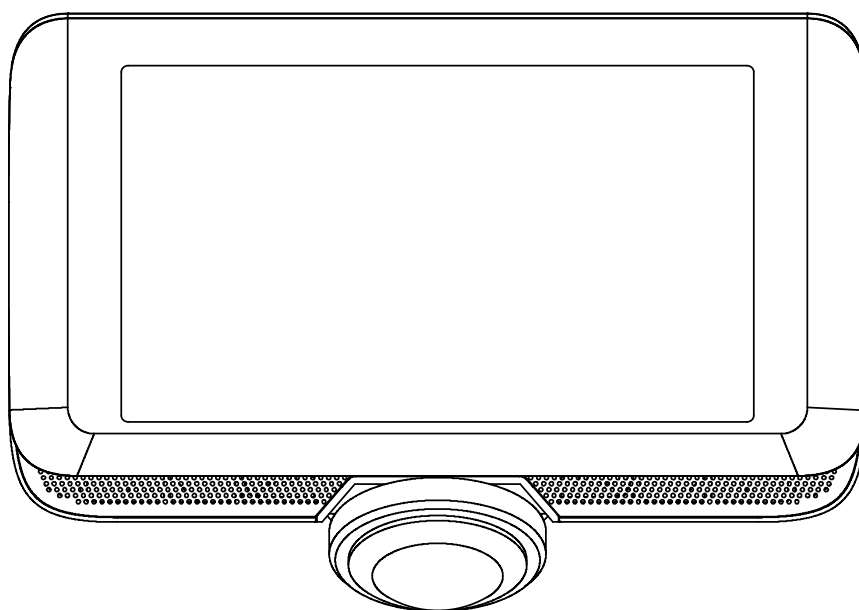


360° ドライブレコーダー

KDR-D360

取扱説明書



360° EYE
Drive recorder

V.1.0.20200304

1. 本書について

本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本書の説明の通り正しくご利用ください。また、本書を大切に保管してください。

本書に掲載された内容はバージョンによって実際の操作画面と異なる場合があります。

また、製品の仕様やデザインは改良、その他理由により予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

2. 搭載バッテリーについて

本製品にはリチウムポリマーバッテリーを使用しています。リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。膨張や充電不良を除くバッテリー消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。

※本製品を使用する際には、必ず付属のシガープラグコードをご使用ください。

3. 製品サポート

本製品の保証期間は、購入から一年間となります。

＜恵安株式会社 サポートセンター＞

メール: support@keian.co.jp

FAX: 03-3980-5327

4. 付属品の確認

● ドライブレコーダー本体		1台
● リアカメラユニット		1台
● リアカメラ延長コード(5.5m)		1本
● シガープラグコード(3.5m)		1本
● 両面テープ式取付ブラケット		1個
● リアカメラ取付用両面テープ		1枚
● 吸盤式取付ブラケット		1個
● 取扱説明書(本書)		1冊
● 保証書		1枚

※本製品には、microSD カードは含まれておりません。

5. 安全上のご注意(必ずお読みください)

ご使用前に、この項目をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

● 警告

- 本製品が万一変形・破損・故障した場合は、すぐに使用を中止し販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を分解、または改造しないでください。火災、感電、故障などの原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- 異物が入っている、煙が出ている、バッテリーが膨らんでいる、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
- 本製品に水をかけたり、水をつけたり、ぬれた手で操作しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 角度調節用ナットのゆるみや取付ブラケットの剥がれなどないか、定期的に点検をおこなってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
- 運転手は走行中に本製品を操作しないでください。事故の原因となります。運転手が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてからおこなってください。

● 注意

- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
- 本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。
 - ◇ 直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
 - ◇ 湿度が高い所やほこりの多い所。
- microSD カードを本製品に挿し込む場合、挿し込む方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
- 本製品は精密機器です。下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
 - ◇ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ◇ 本体を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ◇ 長期間使用しなかった場合。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部に影やゆがみが生じる場合があります。また、遠近感も実際と異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外での使用は保証対象外となります。

- 本製品の画面(タッチパネル)には必ず指でタッチしてください。先のとがったものや硬いもので操作をおこなうと、本体破損の原因となります。

● 液晶パネルについて

- 液晶パネルは、精密な技術によって製造しているため、その特性として、ドット抜けと呼ばれる液晶パネル内に点灯しない画素(黒点)や、いつも点灯する画素(輝点)、明るさにムラが感じられる場合がありますが、製品の故障ではありません。これらは製造技術上、完全に無くすることができないものとなりますので保証対象外となります。

● 搭載バッテリーについて

- 本製品にはリチウムポリマーバッテリーが使用されておりますが特性上、充電回数には制限がございます。保証期間終了後のバッテリー消耗に関しましては保証対象外となりますのでご了承ください。
 - 内蔵リチウムポリマーバッテリーの交換はお客様ではおこなえません。有償の修理・交換対応となります。(その際に本体設定は初期化されます。また、修理の際は microSD カードを抜いてからご依頼ください。)
お問い合わせの機種・時期によっては有償修理もお受けできない場合もございます。
 - 一旦過放電状態になると、再度ご使用頂ける状態まで充電をおこなうのに時間がかかる場合がございます。
- ※ 本製品の充電には、必ず付属のシガープラグコードをご使用ください。

● 廃棄・リサイクルについて

- 本機やバッテリーを一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例などに従ってください。

● 免責について

弊社はいかなる場合も以下の内容に関して一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- 本製品に関連して直接または間接的に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
- 本製品は、車両の走行状態や事故時の状況を記録するための機器です。その他目的やいたずら用途に使用した場合は、個人情報保護法やプライバシーの侵害、肖像権に抵触する場合があります。またこれらについて弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品により撮影されたデータが何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果発生した個人情報保護法やプライバシー、肖像権の侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレーム。
- あらゆる状況においての録画の保証。
- 記録したデータの裁判などでの証拠能力についての保証。
- お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損。
- お客様による本製品の分解、修理または改造がおこなわれた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合。
- 記録したデータの何らかの原因による破損・消失。

● LED 信号機の映像について

LED 信号機の点灯とドライブレコーダーの撮影周期が一致することで信号機が点灯していないように映ることがありますが、本製品のメインカメラは一秒間に撮影するコマ数を適正に設定することで長時間の消滅に対応しています。しかし完全に点滅を防ぐことはできず、撮影時の天候や時刻などの用意により点滅の間隔が変化します。そのため、点滅や色の識別ができない場合は、前後の映像や周囲の車両状況から判断してください。これらによる信号機の識別や記録に関する内容やそれにより発生した損害について弊社は一切の責任を負いません。

● ラジオやテレビなどの車載機器への干渉について

本製品は特定の設置状況においてラジオやテレビの車載機器に干渉する場合があります。干渉を起こしている場合には、以下の方法をお試しいただくことで改善することがあります。

- 本製品と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路と別の回路に本機を接続する。
- 受信アンテナの向きまたは場所を変える。
- 専門の取付業者や技術者に相談する。

● 設置場所や環境について

- 水に濡れる状況や高湿度の環境では本製品を使用しないでください。
- 高温となる場所に設置したままにする場合、本体が高温のままでは安定して動作しない場合があります。また、製品本体の寿命を縮めてしまう場合もありますので、予め予測される場合は製品本体を取り外し高温にならない場所に保管していただくか、サンシェードなどで高温から保護するなどの対策をおこなってください。
- サンシェードなどを使用する際は、本製品をフロントガラスとサンシェードなどの間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなり、本製品の故障につながる可能性があります。
- 車内が高温になっている場合は、窓を開けるなど車内の温度を下げた後からご使用ください。

● 録画映像をパソコンで確認する際に必要な動作環境について

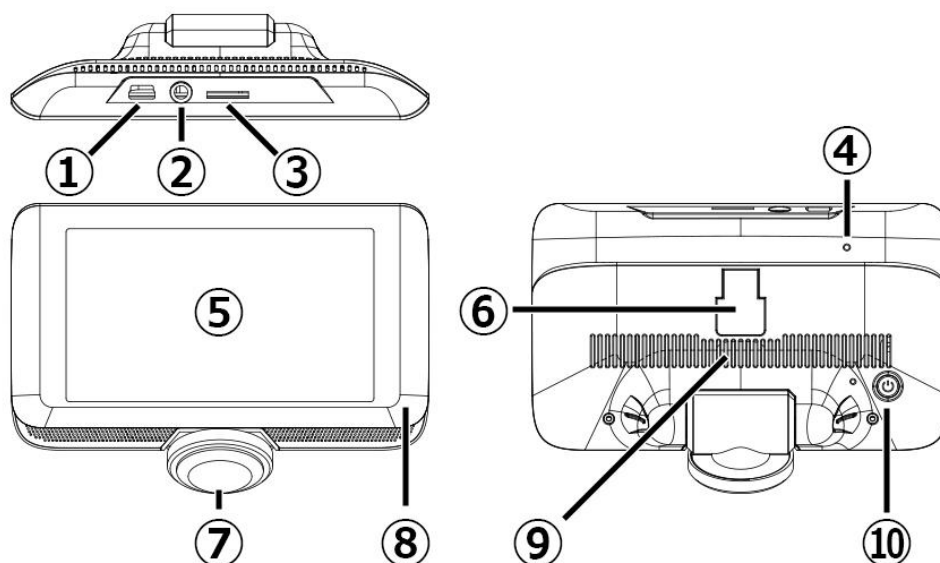
パソコンで録画映像を確認する際は下記が必要です。

- パソコンが Windows 10 のいずれかがインストールされており、Windows 10 および専用アプリケーション「VeSeeGo」の推奨動作環境以上のスペックを持っている。
- H.264 コーデックで出力された動画ファイルに対応したプレイヤー。
- microSD カードを読み込めるスロットもしくは外部機器がある。

● microSD カードについて

- 本製品には microSD カードは付属されておりません。ご購入の際は Class10 以上かつ容量が 8GB から 32GB までの microSDHC 規格の microSD カードをご購入下さい。これら以外の microSD カードを使用した場合、正常に動作しない可能性があります。また相性問題などにより動作しない場合も考えられますので、大手メーカー品の microSD カードをご使用ください。
- 使用する microSD カード内に本製品以外のデータを入れないでください。動作が不安定になる場合があります。
- 事故発生時は記録された録画データ上書きされないように、必ず電源をオフにしてから microSD カードを抜いて保管してください。
- microSD カードの抜き差しをおこなう際は、microSD カード故障の原因となりますので必ず電源をオフにしたあとにおこなってください。
- 万一のデータ消失に備え、こまめに必要なデータをパソコンへ保存することをおすすめします。
- データの断片化やメモリエラー防止のため必要なデータをバックアップしたあとで、microSD カードの定期的なフォーマットを必ずおこなってください。

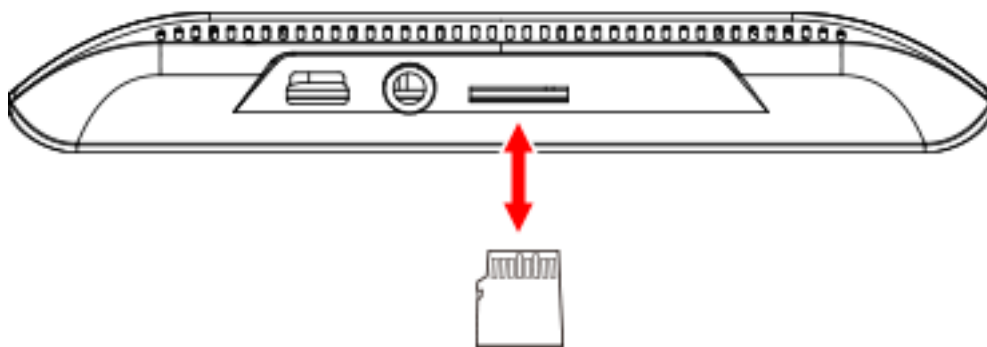
6. 製品外観説明



番号	名称	説明
1	電源ポート	シガープラグコードを接続することで、電源供給をおこないます。
2	リアカメラポート	付属のリアカメラユニットを接続します。
3	microSD カード スロット	録画用の microSD カード(別売り)を挿入します。 本製品の正常な動作には、microSD カードが挿入されている 必要があります。
4	リセットボタン	クリップなどの先端が細いもので、穴の奥のボタンを押すことで再 起動がおこなわれます。本製品が応答しなくなり、電源ボタンが 効かなくなった際はお試しください。
5	タッチパネル ディスプレイ	録画画面や、ファイル再生画面、メニュー画面などの映像を表 示します。また、画面にタッチすることで操作ができます。
6	ブラケット 接続口	本製品を取り付ける際に使用する、取付ブラケットを接続しま す。
7	メインカメラ	動画や写真を撮影します。また、前後に角度調整ができます。
8	マイク	設定をおこなうことで録画中の音声を収録することができます。
9	スピーカー	操作音やファイル再生時の音声を出力します。
10	電源ボタン	長押しすることで電源のオン/オフができます。 短く押すと画面表示のオン/オフ切り替えができます。

7. 本体取付前の準備

① microSD カードの挿入



microSD カード(別売り)をご用意いただき、本体の電源がオフの状態で microSD カードを本製品の microSD カードスロットに挿入します。挿入の際は microSD カードの金属端子部分を背面側に向け、カチッとロックされるまでまっすぐに挿入します。

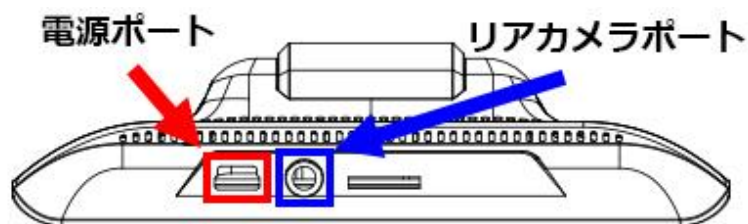
※ microSD カードを取り出す際は、電源がオフの状態で挿入されている microSD カードを再度押し込むとロックが解除されます。

※ 撮影をするには、はじめに microSD カードのフォーマットが必要です。microSD カードのフォーマットについては、各種設定項目説明を参照してください。

【注意】

- Class10 以上かつ容量が 8G から 32GB までの microSDHC 規格 microSD カードを使用してください。
- 挿入時は斜めに挿入したり向きを間違えないようにし、無理に挿入しないでください。
- microSD カードを取り出す際は、紛失しないようご注意ください。
- microSD カードの挿入または取り出しは、電源が完全に切れた状態かつ駐車監視モードおよびエコ監視モードが起動していない状態でおこなってください。データの破損や故障の原因になる恐れがあります。

② シガープラグコード及びサブカメラケーブルの接続



シガープラグコードを本体の電源ポートと車両のシガーソケットに接続します。

サブカメラを使用する場合は、リアカメラ延長コードをリアカメラポートに接続し、コードの先のコネクタにリアカメラユニットを接続します。

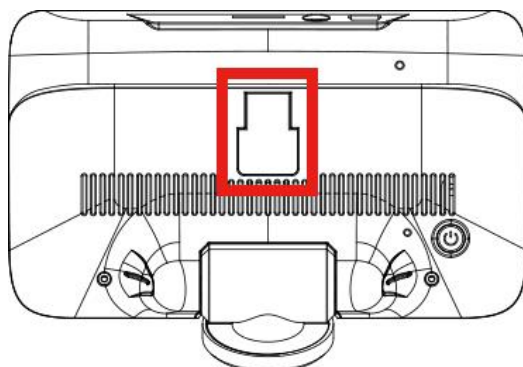
③ 本体の充電

初めてのご利用、または長期間にわたり使用していない場合は、シガープラグコードを使用して車両に接続後エンジンを掛け、20 分程度充電をおこなってください。

8. 取付方法

- ① 安全かつ水平な場所に駐車して、車のエンジンを切ります。
- ② 本体とリアカメラの取付位置を決めます。下記の条件を満たす場所を探してください。
 - A) 道路運送車両法に基づく保安基準の順守のため、フロントガラス全体の上部 20% 以内、またはルームミラーの裏側であること。
 - B) ワイパーの拭き取り範囲内であること。
 - C) ルームミラーの操作に干渉しないこと。
 - D) フロントガラス縁の着色部、運転や視界の妨げとなる位置には設置しないでください。
 - E) 電源用シガープラグコードが接続でき、ボタン操作がしやすいか確認できた位置であること。
 - F) 地デジや ETC、ラジオなどのアンテナ、VICS 受信機付近には設置しないでください。
 - G) 車検シールなどに重ならない位置であること。
 - H) 衝突被害軽減ブレーキシステムや防眩ミラーが装備された車の場合、それらのカメラやセンサーなどを避けた位置であること。(車両取扱説明書をご確認ください。)
 - I) シガープラグコード及びリアカメラ用延長コードが視界や運転の邪魔にならないよう配線及び取り回しをおこなえること。
 - J) 本体とリアカメラの取付場所は、必ず車内であること。
- ③ 取付位置が決まったら、メインカメラとリアカメラを接続した後、レンズ部に貼ってある保護フィルムをはがします。
- ④ 市販のクリーニングクロスなどで取付場所の汚れや油脂、水分などをきれいに拭き取ります。お好みのブラケットをブラケット接続口に接続した後、反対側を取付場所に貼り付け、本体を固定します。

- ⑤ お好みのブラケットをブラケット接続口に接続した後、反対側を取付場所に貼り付け、本体を固定します。



- ⑥ シガープラグコードを本製品に接続し、市販のソフトテープやコードクランプを使用しフロントガラスに沿うように配線の取り回しをおこない、車のシガーライターソケットに接続してください。その際は、地デジや ETC などのその他機器のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ⑦ 取り付け後、ブラケットの角度調整用ナットを緩め、地面と進行方向に対してレンズが水平になるように角度調整をおこなってください。調整が終わったら角度調整用ナットを締めます。
- ⑧ リアカメラも同様に適切な位置に付属の両面テープを使用して貼り付けます。
その後、リアカメラのスタンド部分のネジを緩め、リアカメラの角度を調整します。調整が終わったらネジを締めて角度を固定します。
- ⑨ リアカメラ延長コードの配線の取り回しを行い、本体とリアカメラを接続してください。その際は、本体接続時同様に、地デジや ETC などのその他機器のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ※ リアカメラ延長コードから伸びている赤いケーブルは、バックモニタリング用のケーブルとなりますが、本製品ではサポートしておりませんので、使用しません。

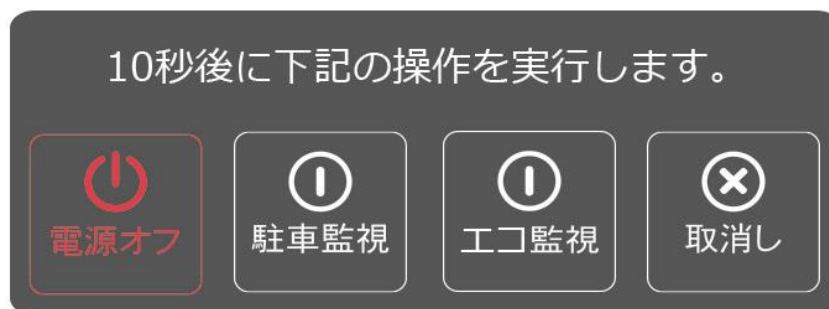
【注意】

- 両面テープ式ブラケットを使用する際は、はくり紙をはがした後気泡が入らないよう、ブラケットの端からゆっくりとフロントガラスに強く押し付けて貼り付けてください。また、粘着強度を高めるために貼り付け後から 24 時間以上放置してから使用してください。粘着力が低下しますので、貼り直しはおこなわないでください。
- 吸盤式ブラケットを使用する際は、時間の経過やフロントガラスのカーブなどの使用状況により使用中外れてしまうことがあります。運転前に固定具合を確認していただくか、両面テープ式ブラケットをご利用ください。
- 接触不良を防ぐため、シガーライターソケットを掃除してから取り付けてください。
- 国外仕様など一部の車両はエンジンが掛かっていない状態でもシガーライターソケットに通電している場合があります。その場合は、バッテリー上がりの原因となりますので ACC をオンにすると通電する場所(エンジンが掛かっていない状態で通電しない場所)から電源供給してください。もしくは、整備工場や取付業者、資格所有者などにご相談ください。

9. 電源のオン/オフ切り替え

① エンジンとの連動

本製品は、シガーソケットに接続されている場合、エンジンと連動して自動で電源のオン/オフを切り替えます。エンジンが始動すると自動的に本体の電源が入ります。またエンジンを停止すると下記のメニューが表示されます。「電源オフ」をタップすると、本製品の電源がオフになります。



メニューが表示された後、約 10 秒間操作しないと、赤く選択されている操作が実行されます。「取消し」をタッチすると、約1分後に再度同じメニューが表示されます。

② 手動での電源オン/オフ

電源ボタンを長押しすると、電源がオフになります。エンジンとの連動機能で電源がオンになるか、再度電源ボタンを長押しすると電源がオンになります。

【注意】

- 本製品は取り付けた車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、エンジン連動による起動ができない場合があります。また、本体のバッテリーの充電状態によっても、正しく動作しない場合があります。このような場合、本体側の電源ボタンで電源を入れてください。また、充電不足や長期間本製品を使用しなかった場合は、通電をおこない本体のバッテリーを充電してください。
- アイドリングストップ搭載の車両で本製品を使用する場合、車両のバッテリー電圧の状態によっては、アイドリングストップ状態からエンジン始動するタイミングで製品の電源がオフになる場合があります。このような場合、本体側の電源ボタンで電源を入れてください。

10. ディスプレイ表示のオン/オフ切り替え

本体のディスプレイに映像が表示されている時に、電源ボタンを短く押すと、ディスプレイ表示をオフにすることができます。ディスプレイ表示がオフの状態でも録画中であれば録画は継続されます。再度、電源ボタンを短く押すか、ディスプレイをタップするとディスプレイ表示がオンになります。

11. メイン画面説明

本体起動後、画面とタップすると画面下部にメニューバーが表示されます。

各部表示内容は下記になります。



メイン画面（録画停止中）

番号	項目	説明
1	動画撮影	タップすると動画の撮影を開始します。
2	静止画撮影	タップすると表示中のカメラ映像を写真撮影します。
3	ファイル再生 メニュー	タップすると保存されているデータを閲覧できます。
4	設定メニュー	タップすると本体の設定をおこなえます。
5	画面表示 モードメニュー	タップすると撮影画面の表示内容を変更できます。
6	録音切り替え	タップすると撮影時の音声録音の ON/OFF を変更できます。
7	撮影画面	現在メインカメラがとらえている映像を表示します。
8	リアカメラ 撮影画面	リアカメラが接続されている場合、リアカメラの映像を表示します。 タップすることで全画面表示と縮小表示切替ができます。
9	日時表示	現在の日時を表示します。
10	バッテリー 残量	現在の本体内蔵バッテリーの状態を表示します。



メイン画面(録画中)

11	動画録画中 アイコン	録画中はアイコンが赤くなります。録画中にタップすると録画を停止します。 ※アイコン内の数字は、1 ファイルあたりの録画時間です。
12	静止画撮影	2と同じ動作をします。
13	録画ファイル ロック	タップすると表示が赤くなり、タップ時から 20 秒の間自動で上書きがされない 動画を撮影します。
14	画面表示 モードメニュー	5と同じ動作をします。
15	録音切り替え	7と同じ動作をします。
16	録画中 アイコン	録画中に表示されます。動画ファイルロック中は SOS アイコンも表示されま す。

12. 使用前におこなうこと

① microSD カードのフォーマット

初めてのご利用時、microSD カードの交換時、または2週間から一か月に一度、本体の設定メニューから microSD カードのフォーマットをおこなってください。

【注意】

- フォーマットをおこなうと、microSD カードに保存されているファイルが削除されます。必要に応じてファイルをパソコンなどに保存してからフォーマットをおこなってください。
- データの断片化やメモリエラー防止のため、microSD カードの定期的なフォーマットを必ずおこなってください。
- 万一のデータ消失に備え、定期的に必要なデータをパソコンへ保存してください。

② 本体の日時設定

初めてのご利用時、または本体の日時設定がずれている場合は、本体の設定メニューから日時設定をおこなってください。

13. 各種設定項目説明

本項では、本体の設定メニュー画面についてご説明します。

設定メニューを開くには、一度録画を停止してからメイン画面に表示される歯車アイコンをタップしてください。各設定項目は、それぞれ項目内をタップすることで設定を変更することができます。

◆と記載がある項目は、初期設定で選択されている項目です。

① 記録設定

設定				
記録設定	常時録画	○1分	○2分	○5分
	エコ監視	○1秒	○3秒	○6秒
	Gセンサー	○低	○中	○高
システム設定	フリッカレス	○50Hz	○60Hz	
	音声録音	○オン	○オフ	
	バックカメラ鏡像	○オン	○オフ	
システム設定	スクリーンセーバー	オフ		

※ 記録設定画面では画面中央部を上へスワイプすると設定項目表示を移動できます。

項目	内容	説明
常時録画	1 分	通常録画時に保存される動画 1 ファイルあたりの記録時間を選択します。
	2 分◆	
	5 分	
エコ監視	1 秒◆	エコ監視モード時に撮影する映像の頻度を設定します。 設定した秒数毎に撮影した連続した静止画をつなげたタイムラプス動画を生成します。
	3 秒	
	6 秒	
G センサー	低	衝撃感知や駐車監視モードで使用する衝撃センサーの感度調節をします。
	中◆	
	高	
フリッカレス	50Hz◆	周波数の選択をします。東日本で使用する場合は 50Hz、西日本で使用する場合は 60Hz に設定してください。
	60Hz	
音声録音	オン◆	録画をする際に、同時に音声を録音する機能のオン/オフを切り替えます。
	オフ	
バックカメラ鏡像	オン◆	リアカメラの映像を反転するかを設定できます。 オン(デフォルト): 鏡像 オフ: 正像
	オフ	
スクリーンセーバー	1 分	スクリーンセーバーの設定ができます。設定した時間が経過するとディスプレイ表示がオフになります。ディスプレイ表示がオフになっても録画等は続きます。
	2 分	
	5 分	
	オフ◆	

② システム設定



項目	説明
言語設定	本体の表示言語を、日本語・中国語・英語のいずれかに変更します。
明るさ設定	スライダーを操作することで、ディスプレイの明るさを変更します。 右側のアイコンをタップすると、明度を自動調整するモードになります。
音量設定	スライダーを操作することで、録画時の音量および本体の操作音を調整します。 右側のアイコンをタッチすると消音設定にできます。
日時設定	年月日と時刻をそれぞれタップすることで、個別に日時を設定ができます。 日時設定は定期的に確認し、日時がずれている場合は再設定をおこなってください。
システム再設定	フォーマット: タップすると挿入された microSD カードの初期化 (フォーマット) を行います。フォーマットすると保存されているデータがすべて消去されます。 工場出荷設定: 本体の設定を、工場出荷時の状態にリセットします。
バージョン	本体のファームウェアのバージョンが表示されます。

13. 画面表示モード

メイン画面の画面表示モードメニューアイコンをタップすることで、カメラ映像の表示方法を選択することができます。

項目	説明
ワイドアングルモード	メインカメラをフロントガラス側へ向け、フロント方向を広角で撮影します。
球面モード	メインカメラを下へ向け、カメラレンズを中心に円形に撮影します。 画面をスライド操作することでディスプレイ表示エリアが調整でき、リア側の映像も確認することができます。
フロント＆バックモード	メインカメラを下へ向け、カメラレンズを中心に円形に撮影します。 メインカメラの映像は、ディスプレイにフロントおよびバック(リア)方向を上下 2 分割で表示します。
マルチウィンドウモード	メインカメラを下へ向け、カメラレンズを中心に円形に撮影します。 メインカメラの映像は、ディスプレイに前後左右の 4 分割で表示します。

- ワイドアングルモード以外のモードでは、ディスプレイをスワイプすることで表示エリアを回転させることができます。
- また、フロント＆バックモードおよびマルチウィンドウモードでは、分割された画面を素早く 2 回タップするとタップした画面が全画面表示されます。全画面表示状態で再度素早く 2 回タップすると、分割画面に戻ります。

14. 機能概要

① 動画撮影モード

● 映像録画の開始と停止

本体が起動すると自動的に録画が開始されます。

録画中はメイン画面の動画撮影アイコンが赤く表示され、画面左上に録画中アイコンが表示されます。この時、動画撮影アイコンをタップすると録画を停止し、録画中アイコンが消えます。

手動で録画を開始するときは、白く表示されている動画撮影アイコンをタップします。

※ microSD カードが挿入されていない場合で起動した場合、録画は開始されずに「SD カードを挿入してください」というメッセージが表示されます。

※ 常時録画設定で指定している時間の長さ分の録画データを生成していきます。microSD カードの容量がなくなると、ファイルロックされていない録画データを除き、古い録画データから順に上書きされます。

● 録画映像の保護

録画中にメイン画面のメニューバーの録画ファイルロックアイコンをタップすると、そのアイコンが赤く変化し、画面上部の録画中アイコンの隣に「●SOS」と表示されます。約 20 秒間の保護（ファイルロック）された録画データを別ファイルで生成後、通常録画に戻ります。

ファイルロックされると、microSD カードの容量がいっぱいになった場合でも自動で、その動画ファイルが上書きされないようになります。

● 衝撃感知録画

録画中に衝撃を感知すると、衝撃感知機能が作動して画面上部の録画中アイコンの隣に「●SOS」と表示されます。感知後から約 20 秒間の保護（ファイルロック）された録画データを別ファイルで生成後、通常録画に戻ります。

衝撃感知の感度は設定メニューの G センサーの項目で調節ができます。

※ 事故発生時の衝撃が弱い場合、センサーが衝撃を感知できない場合があります。その際は通常の録画映像をご確認ください。

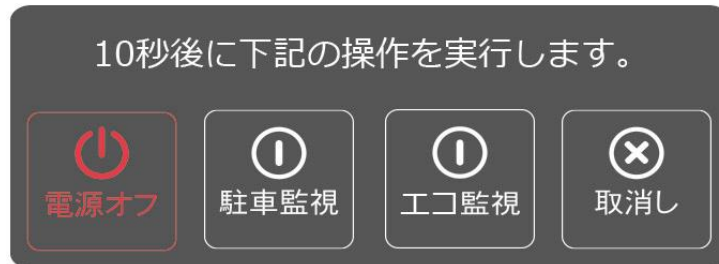
② 駐車監視モード

このモードがオンになると、エンジンが停止して本体の電源がオフになった後でも、衝撃を感知すると感知後の映像を録画することができます。

このモードで録画された映像ファイルは保護（ファイルロック）されます。

- 駐車監視モードの作動と解除方法

A) 本体の電源がオンの状態でエンジンを停止すると、ディスプレイに下記のメニューが表示されます。



B) このメニュー内の「駐車監視」をタップすると、ディスプレイの表示が消えた後、約1分後に駐車監視モードが作動します。

※ 駐車監視モード作動中もディスプレイの表示は消えたままになります。

C) 駐車監視モード作動中に衝撃を感知すると、感知後の映像を約 20 秒間録画します。その後、再び駐車監視モードに戻ります。

D) エンジンが始動すると、駐車監視モードが解除され通常の録画モードに戻ります。

【注意】

- 駐車監視モードが作動すると、ビーブ音が鳴ります。しかし音声設定で消音になっている場合は、このビーブ音は鳴りません。
- 駐車監視モードは内蔵バッテリーで作動します。そのため、バッテリー残量が減ると駐車監視モードが自動で停止します。バッテリーの状態によって、駐車監視モードの稼働時間が変わるため使用する場合は十分に充電をおこなってください。

③ エコ監視モード

エンジン停止時のメニューでこのモードを開始できます。このモードがオンになると、設定画面で設定した秒数毎に連続撮影した静止画をつなげたタイムラプス動画を撮影します。

また、このモード中は駐車監視機能も同時に稼働しているため、衝撃が加わると駐車監視モードでの撮影もおこなわれます。

駐車監視モード同様、エンジンが始動するとこのモードが解除され通常の録画モードに戻ります。

【注意】

- 駐車監視モードが作動すると、ビーブ音が鳴ります。しかし音声設定で消音になっている場合は、このビーブ音は発生しません。
- エコ監視モードで撮影されたタイムラプス動画ファイルは、保護(ファイルロック)されません。
- 駐車監視モード同様にエコ監視モードは内蔵バッテリーで作動します。そのため、バッテリー残量が減るとエコ監視モードが自動で停止します。バッテリーの状態によって、稼働時間が変わるため使用する場合は十分に充電をおこなってください。

④ 静止画撮影

メイン画面に表示される静止画撮影アイコンをタップすると、表示されているメインカメラ映像を静止画として撮影します。静止画撮影は録画中でもおこなうことができます。

14. 撮影データの確認方法

① 製品本体での確認

メイン画面のファイル再生メニューアイコンをタップすることで、microSD カードに保存されたデータの確認ができます。

表示されたファイル再生メニューの左側に表示されるアイコン(下図参照)をタップすることでそれぞれのメインカメラやリアカメラで撮影された動画や静止画の一覧がメニュー右側に表示されます。

その一覧に表示された画像をタップすることでファイルの閲覧ができます。

		
メインカメラ動画	リアカメラ動画	静止画

➤ 動画再生メニュー



番号	項目	説明
1	前の動画へ	一つ前の動画ファイルを再生します。
2	再生/一時停止	再生と一時停止を切り替えます。
3	次の動画へ	次の動画ファイルを再生します。
4	画面表示 モードメニュー	動画の表示方法を変更できます。 ※ リアカメラで撮影した動画の再生時にはアイコンは表示されません。
5	進捗バー	動画再生の進捗を表示します。バーの途中をタップすることで、動画のその位置にあたる時間から再生することができます。
6	前の画面に戻る	ファイル再生メニューに戻ります。

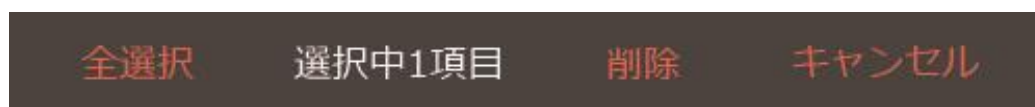
➤ 静止画再生メニュー



番号	項目	説明
1	前の静止画へ	一つ前の静止画ファイルを表示します。
2	次の静止画へ	次の静止画ファイルを表示します。
3	前の画面に戻る	ファイル再生メニューに戻ります。
4	画面表示 モードメニュー	静止画の表示方法を変更できます。 リアカメラの静止画では、このアイコンは表示されません。

➤ ファイルの削除

ファイル再生メニューに表示されている動画または静止画ファイルをタッチし続けると、画面メニューに下図の削除メニューバーが表示されます。このメニューバーに表示されている間は、動画や静止画ファイルをタップすると複数のファイルを選択することができ、選択したファイルを削除することができます。



項目	説明
全選択	現在表示されている一覧のすべてのファイルを一度に選択します。
選択中○項目	現在選択されているファイル数が表示されます。
削除	選択されているファイルを削除します。
キャンセル	削除メニューを終了します。

② コンピューターでの確認

コンピューター（以下 PC）で microSD カードに保存されたファイルを閲覧する場合は、専用アプリケーション「VeSeeGo」を使用すると様々なアングルでの表示と再生を行うことができます。

➤ 推奨動作環境

アプリケーションを使用するための動作環境は以下の通りです。

- OS: Windows10 以降 (64 bit 推奨)
- CPU: Intel Core i5 以降
- メモリ: 4GB 以上
- その他: DirectX 9.0 以降 / Microsoft Explorer のバージョン 7.0 以降

※ Mac には対応していません。

※ すべての PC について動作を保証するものではありません。

※ ご利用のパソコンのスペック・環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

【注意】

- 本アプリでは静止画の確認はできません。
- 本製品は GPS 機能を搭載していないため、撮影位置のマップ表示などはできません。
- 画像はイメージです。実際の画面表示と異なる場合があります。
- アプリケーションのアップデートにより、機能や表示の変更がある場合があります。

➤ アプリケーションのインストールおよび起動方法

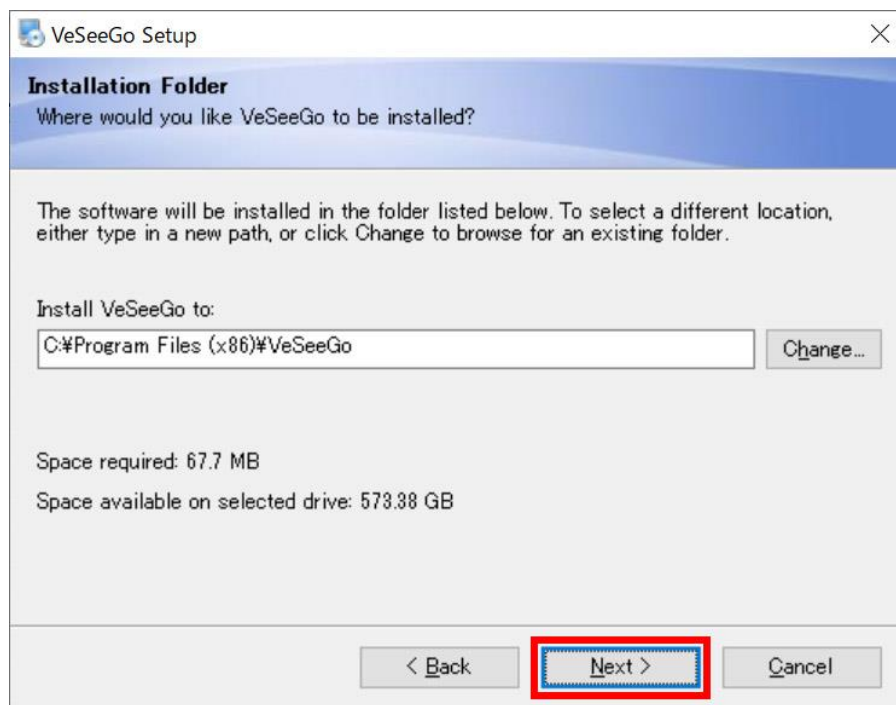
① 本体に microSD カードを挿入してフォーマットをおこなっていると、閲覧ソフトのインストールファイル「VeSeeGo_setup.exe」が microSD カードのルートフォルダに保存されています。

② microSD カードを microSD カードリーダー（別売り）で、ご利用のパソコンに接続し、microSD カードに保存されている「VeSee_setup.exe」を、デスクトップや C ドライブなどにコピーします。

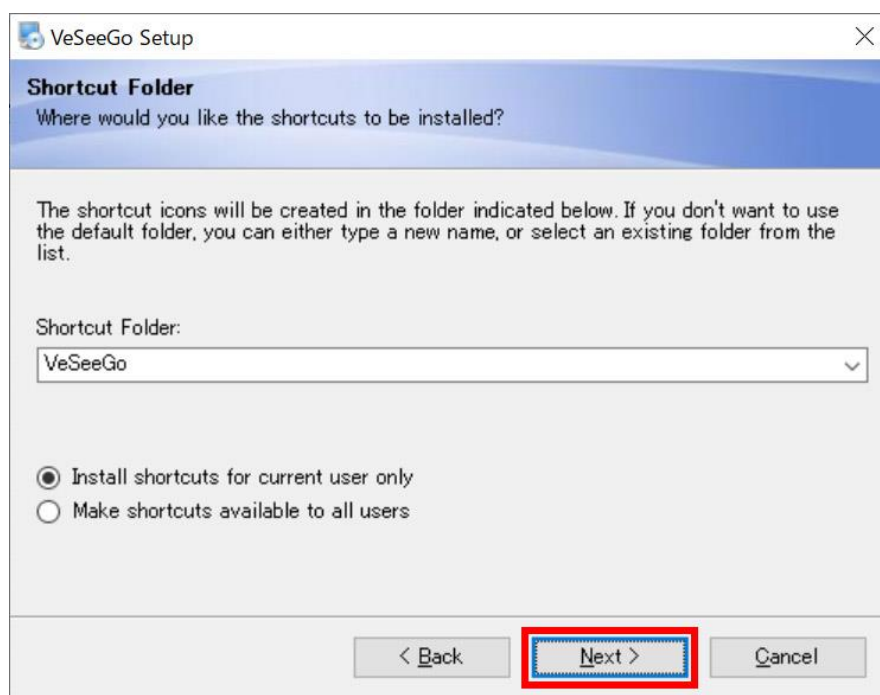
※ microSD カードから直接「VeSee_setup.exe」を起動してインストールをおこなうとアプリケーションが起動できない場合がありますので、必ずパソコンにコピーしてから「VeSee_setup.exe」を起動してください。



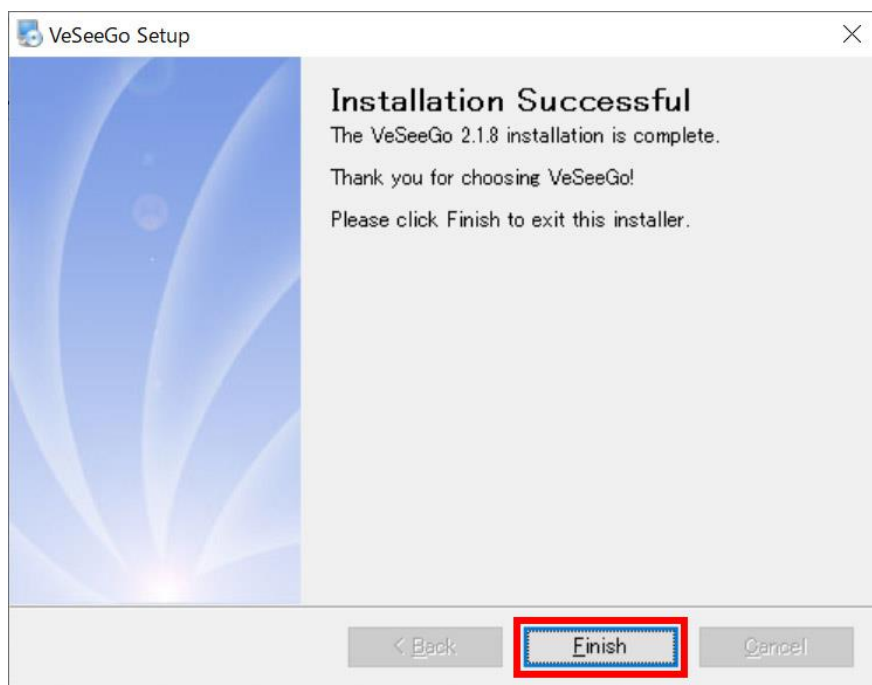
- ③ 次にインストール先フォルダの指定画面が表示されます。
変更の必要がない場合は「Next >」をクリックします。
※ 変更したい場合は「Change」をクリックすることで変更が可能です。



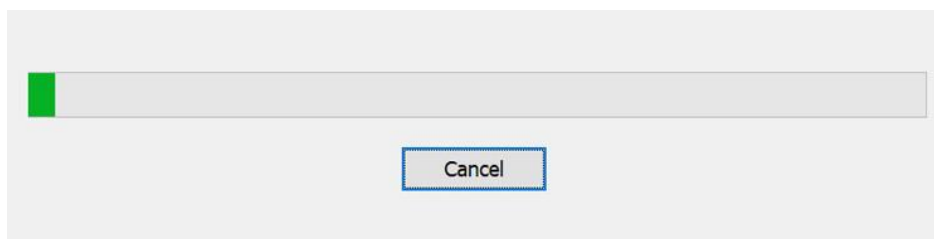
- ④ スタートメニューへのショートカット登録画面が表示されます。
特に指定がない場合は、そのまま「Next >」をクリックします。



- ⑤ インストールが開始されますので、完了までしばらく待ちます。
- ⑥ インストールが完了すると、完了画面が表示されますので「Finish」をクリックします。



- ⑦ しばらくすると、ソフトウェアが自動で起動します。コンピューターがインターネットに接続されている場合、自動でアップデートが開始されます。



- ⑧ アップデートファイルのダウンロードが終わると、再度セットアップ画面が表示されますので、始めと同様に進めてインストールを完了させます。
- ⑨ アップデートが完了すると、自動で「VeSeeGo」が起動します。
起動しない場合は、デスクトップやスタートメニューに「VeSeeGo」が追加されているので、項目を選択することでアプリケーションが起動します。
- ※ 起動時に「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は、「はい」をクリックします。
 - ※ インストール直後のアップデートがおこなわれない場合、パソコンがインターネットに接続されていることを確認後、アプリケーションを起動してウィンドウの左上にある「VeSeeGo」の文字をクリックすることで手動アップデートを開始できます。

➤ アプリケーション画面説明

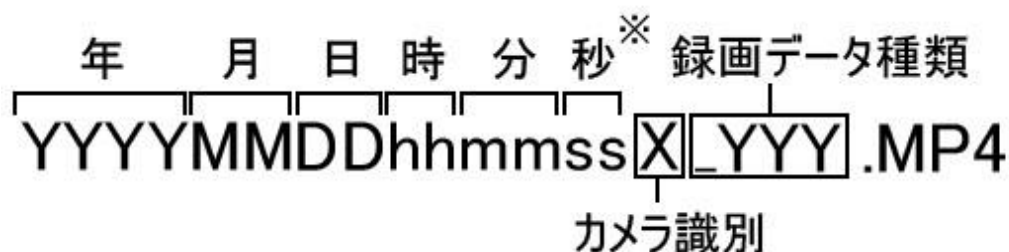


番号	項目	説明
1	プレイリスト表示	プレイリストの表示・非表示を切り替えます。プレイリスト上部のアイコンから再生ファイルの追加・削除、再生方法の変更などがおこなえます。
2	再生操作ボタン	再生/一時停止の切り替え、停止や前/次の映像再生ができます。
3	カメラの向き変更	メインカメラの向きに合わせて動画表示を変更できます。
4	フロント&バックモード表示	メインカメラの映像をフロントおよびバック(リア)方向を上下2分割で表示します。
5	4分割モード	メインカメラの映像を前後左右の4分割で表示します。
6	水平表示モード	メインカメラの映像を水平に表示します。
7	ワイドモード	メインカメラの映像を広角で表示します。
8	表示調整モード	動画ファイルの表示調整が可能です。 ※ 調整により、動画が見づらくなる場合があります。また、調整には専門知識が必要となります。
9	ボリューム調整	音声のボリュームを調整できます。またスピーカーアイコンをクリックするとミュート切り替えができます。
10	ファイル読み込み	動画ファイルを読み込みます。
11	動画変換	撮影した動画ファイルの表示角度などを調節して本アプリケーションを使用しなくとも再生できる動画に変換できます。 ※ 変換した動画の再生には「Windows Media Player」を推奨します。
12	全画面表示切替	動画再生中にクリックすると、再生中の動画を全画面表示します。
※ 表示されている映像をドラッグアンドドロップすることで表示映像の角度を調整できます。		

15. 生成されたファイルについて

① 動画データのファイル名について

生成された動画データのファイル名は下記のようなルールに基づき生成されます。



※ 録画開始の時間で生成され、年月日及び時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

項目	表示	説明
カメラ識別	A	メインカメラの映像
	B	リアカメラの映像
録画データ 種類	(なし)	通常録画データ
	_SOS	衝撃感知や録画ファイルロックがおこなわれた際に生成された動画データ ※ このファイルは保護(ロック)されており、自動で上書きされません。
	_cctv	エコ監視モードで撮影されたタイムラプス動画データ

② 静止画データのファイル名について

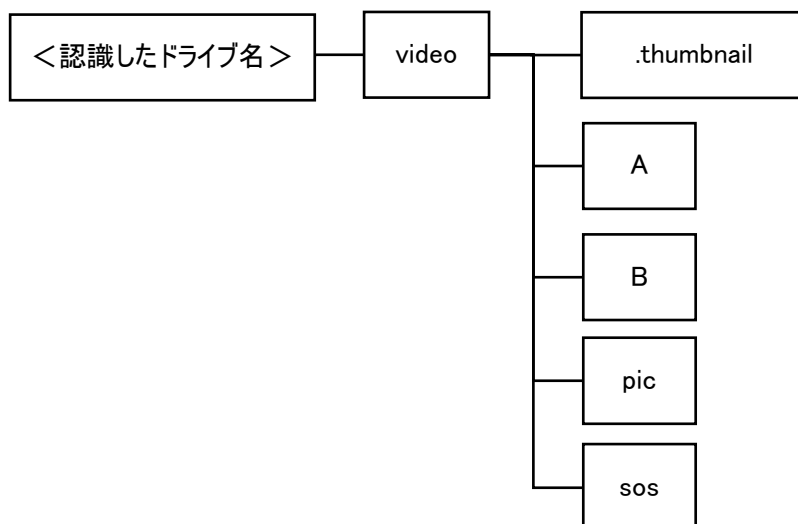


※ 写真撮影時の時間で生成され、年月日及び時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

項目	表示	説明
文字列	(数字)	自動生成された数字が組み込まれます。
カメラ識別	A	メインカメラの画像
	B	リアカメラの画像

③ 生成されたファイルの保存先

動画・写真データは下記のディレクトリに保存されています。



項目	説明
.thumbnail	本体でのファイル確認時に使用されるサムネイル画像が保存されます。
A	メインカメラの動画ファイルが保存されます。
B	リアカメラの動画ファイルが保存されます。
pic	静止画データが保存されます。
sos	衝撃感知や録画ファイルロックがおこなわれた際に生成された動画データが保存されます。

16. よくあるご質問

症状	対処方法
電源が入らない または 突然電源が落ちる	シガープラグコードが本製品の電源ポートと車両のシガーライターソケットにしっかり接続されているかご確認ください。 シガーライターソケットの分岐により、電力不足が発生している可能性があります。分岐させず車両のシガーライターソケットへ直接しっかりと接続してください。 本体のバッテリー残量不足の可能性があります。車両に接続後エンジンを掛けて充電をおこなってください。 動作が不安定になっている可能性があります。本体のリセットボタンを押して下さい。それでも改善しない場合は、microSD カードのフォーマットをおこなってください。
microSD カードを認識しない	microSD カードが挿入されていない可能性があります。microSD カードスロットに microSD カードを挿入してください。 本体の設定メニューからフォーマットをおこなってください。 フォーマットをおこなってください。それでも改善しない場合は、microSD カードを交換してください。
画面にドット抜け（輝点・黒点）がある	液晶パネルは、精密な技術によって製造しているため、その特性として、液晶パネル内に点灯しない画素（画素欠け：黒点）や、いつも点灯する画素（常時点灯：輝点）が存在する場合があります。これらは製造技術上、完全に無くすることができないものとなりますので保証対象外となります。
録画したはずのファイルが見つからない	保護（ロック）されたデータにより、録画容量に空きがなくなっている場合があります。パソコンにデータ保存し、microSD カードからデータを削除してください。 推奨容量である 8GB から 32GB の microSD カードを使用し、十分な保存容量を確保してください。
動画再生時に音が出ない。	音声設定の音量および音声記録設定を確認してください。
タッチパネル操作ができない	システムが不安定になっている可能性があります。本体のリセットボタンを押し、再起動してください。
画面が映らない	電源が入っていない場合は電源を入れてください。 画面表示がオフになっている場合は、画面をタッチするか、電源ボタンを押してください。
画面に色ムラが出現した。	高温の車内に設置していたため、本体が高温になっている場合があります。エアコンなどで本体が冷却したり、サンシェードなどを利用して車内が高温にならないようにしてください。
内蔵バッテリーが使用できない	

● 録画時間の目安

microSD カード容量	メインカメラのみで撮影	フロント+リアカメラでの撮影
8GB	約 90 分	約 52 分
16GB	約 180 分	約 104 分
32GB	約 360 分	約 209 分

※ 上記の値は目安値で、使用状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度設定などにより録画可能時間は変化します。

● 駐車感知機能による録画時間

駐車感知録画機能など内蔵バッテリーを使用して録画する場合の録画可能目安時間は、通常使用を想定した場合、車体停車時において、本体バッテリーが満充電、室温 20℃、衝撃検知起動 1 回の条件で約 24 時間が目安となります。

※ 本体に内蔵されているリチウムポリマーバッテリーは消耗品となります。特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下し、目安時間より短くなる場合があります。バッテリーの消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。

※ 駐車感知による録画や車内温度によって録画可能時間が変動します。

17. 製品仕様 ※製品の仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

モニター	タッチパネル搭載 5 インチ液晶ディスプレイ
本体サイズ	約 130 (W) x 77 (H) x 19 (D) mm (突起部を含まず)
映像素子	1/3 型 CMOS センサー
総画素数	300 万画素
F 値	F2.1
レンズ	光学 6 層ガラスレンズ
リアカメラ	同梱
視野角	メイン: 約 水平 360° 垂直 220° リア: 約 水平 144° 垂直 70°
記録方式	常時録画 / 衝撃感知録画 (駐車録画、衝撃感知)
ファイル形式	動画: MP4 (動画フォーマット: H.264) 静止画: JPEG
記録解像度	動画(メイン): 1440x1440 動画(リア): 1920x1080 写真: 1440x1440 ※ 解像度は変更することはできません。
フレームレート	メインカメラ: 24fps / サブカメラ: 25fps ※ フレームレートは変更することはできません。
自動シームレス録画	サポート(電源が入った時、自動でシームレス録画を開始します)
LED 信号機対応	サポート
G センサー	内蔵 (感度調節可能)
スピーカー	1W 8Ω
マイク	内蔵 (オン / オフ 切り替え可能)
言語	日本語、英語、中国語(簡体字/繁体字)
記録媒体	microSD カード (Class10 以上かつ容量 8GB~32GB をサポート)
USB ポート	USB2.0 (mini B タイプ)
バッテリー容量	500mAh
電源	DC 5V/2A (12V/24V 車両対応)
動作温度	-20℃~65℃
保証期間	購入より 1 年間
パッケージ内容	ドライブレコーダー本体、リアカメラユニット、リアカメラ延長コード(約 5.5m)、シガープラグコード(約 3.5m)、リアカメラ取り付け用両面テープ、両面テープ式取付ブラケット、吸盤式取付ブラケット、取扱説明書、保証書